

八王子市生涯学習審議会会議録

会 議 名	平成 30 年 1 月 八王子市生涯学習審議会
日 時	平成 30 年 1 月 17 日 (水) 午後 6 時 30 分～午後 7 時 30 分
場 所	八王子市生涯学習センター 第 2 学習室
出席者氏名	委 員 三浦 眞一 岡本夢乃 石川智子 碓井恵夫 小倉艶子 加藤方浩 小林正博 丹間康仁 永村隆 村上ひろみ
	事務局 平塚生涯学習政策課長 浅岡学習支援課長 太田中央図書館長 新納生涯学習センター図書館長 福田川口図書館長 高木主査 塩澤主査 杉山主査 平野主事
欠 席 委 員	浅井揚三 炭谷晃男 守屋和広
議 事 案 件	《議題》 ・生涯学習プランの現状、課題の整理について
	《報告事項》 ①平成 28 年度包括外部監査結果に基づく措置について ②図書館サービスの基本的な考え方 (中間まとめ) ③東京都市町村社会教育委員連絡協議会 関連行事について ④教育委員会定例会における関連事項について
事 務 局	<p>1. 開 会</p> <p>2. 定足数の確認 出席者 10 名、会議の成立を確認</p> <p>3. 会議録署名委員 丹間委員を指名</p> <p>4. 11 月 1 日付異動について</p> <p>5. 議 事</p> <p>議事案件 生涯学習プランの現状、課題の整理について</p> <p>1. 図書館システム入れ替えに伴う臨時休館について 現在の図書館システムは平成 23 年 4 月 1 日から稼働しており、平成 30 年 3 月末日に契約満了となる。平成 30 年 4 月の新システムの稼働平成 31 年 4 月の小中学校看護専門学校との連携改新に向け 29・30 年度二か年でシステムの構築を進めている。今回はシステム入れ替えのために 30 年 3 月下旬に臨時休館を行う。システムの入替えで、マイナンバーカードを用いた本の貸し出しや、電子図書の貸し出しが可能となる。利用者が希望する場合は自身の読書記録がホームページ上で確認できる。学校図書館においては、図書館と学校間、学校と学校間のネットワーク化により、他校や図書館の蔵書の検索ができるようになる。学校との連携開始は平成 31 年 4 月から。</p>

事務局	<p>休館日とする日及び施設について 平成 30 年 3 月 19 日から 4 月 1 日までシステム入れ替えのため休館とする。対象施設は中央図書館・生涯学習センター図書館・南大沢図書館・川口図書館・中央図書館北野分室・中央図書館みなみの分室</p>
事務局	<p>休館日としない日及び施設 図書館では図書を正しい位置に並べなおす作業等を行うため、規則で休館と定めている館内整理日があるが、臨時休館の前後の館内整理日、平成 30 年 3 月 13 日と 4 月 10 日の 2 日間は中央図書館を開館する。こちらは臨時休館の期間中に館内整理を行うこととし、システム入れ替えの臨時休館の影響を考慮した。生涯学習センター図書館と川口図書館は図書館が入って 1 週間休館になることから、規則通りの休館となる。南大沢図書館は臨時休館の期間中の館内整理日となる。</p>
事務局	<p>休館期間中の職員の作業内容 システム研修を含む各種研修の実施、本の配置の見直し、館内環境の整備をする予定。</p>
事務局	<p>休館期間中の提供サービスについて システムが停止するため、図書館のホームページが利用できなくなり、市内 4 図書館と 2 つの分室が休館となる。システムを利用していない地区図書室の蔵書の貸し出しは可能。ブックスタートや三歳児に読み聞かせなどの児童向けのサービス、八王子市以外から取り寄せをする障害者向けの図書の貸し出しサービスについては実施する予定。</p>
事務局	<p>周知の方法 ・広報はちおうじ 2 月 15 日号及び 3 月 15 日号 ・市及び図書館音声・館内ポスター等で行う予定</p>
川口図書館長	<p>2. 第 6 回読書感想文第 13 回読書感想画コンクールの実施結果について 読書感想文については第 6 回目、感想画については第 13 回目のコンクールとなった。今回も東京八王子西ロータリークラブ様と共催で実施することができた。読書感想画は 1037 作品の応募があり、最終審査会にて勝者が決定した。読書感想文においても 1028 作品の応募があり、最終審査会 108 作品より決定した。今回は市制 100 周年に基づき市制 100 周年記念特別賞を設けた。今年度も中学生の上位入賞者は八王子市ジュニア国際交流選手として海外友好都市である台湾高雄市に 3 月 25 日から 3 月 27 日まで派遣する。表彰式は来月 2 月 3 日の土曜日午後 2 時より八王子市学園都市センター 12 階のイベントホールで行う。また受賞作品の展示については、本庁舎 1 階ロビー及び表彰式の当日まで八王子市学園都市センターの 11 階の展示室で行う。</p>

<p>事務局</p>	<p>3. 読書ノートの活用について 図書館部では第3次読書のまち八王子推進計画に基づき、家庭・地域。学校で読書が楽しめるような事業を展開している。児童が楽しみながら読書に親しめるように小学生を対象に読書ノートを作成した。低学年用・高学年用として2種類作成した。読書によって得た知識や感想・感動などを振り返るツールの一つとして使用してもらいたい。また、多くの本を読み終えたという達成感も得てもらいたい為、読書ノートを作った。楽しみながら読書をする習慣を感受性の豊かな時期に高めてもらいたい。読書ノートに登場するキャラクター達は、市の花やまゆりをモチーフにオリジナル作成した。このイラストは、市内在住の漫画家・イラストレーターである、ペンネームちゃまめわかこさんに無償で制作・提供してもらった。この方は、車いす生活をされてハンディキャップも抱える中、上智大学も卒業されて頑張っている方。学習支援課の南大沢分館で講演会も実施するとのこと。</p>
<p>事務局</p>	<p>中央大学との共同研究の中間発表会について 中央大学と八王子市は2017年の4月に包括連携協定を締結した。この協定に基づき、中央大学文学部社会情報学専攻の研究チームと図書館部が研究テーマ読書感想文コンクール及び図書館利用実態に関する研究と題して本市における図書館整備、図書館関連教育の向上を図ることを目標とする共同研究を今年の4月1日より実施している。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日の議事案件 1・生涯学習プランの現状・課題の整理について ～前回の審議会の続き～ 基本施策2の誰もがいつでもどこでも学べる仕組みづくりについて 関連事業評価についても基本施策に当てはまる239件で、一番多く取り上げられているところ。 基本施策3については学習成果を生かした市民が繋がる生涯学習の推進。 また、市の単独でやっている事業が少なく比較的他の施策よりは少ない。繋がるということもあり、共済事業などが多い。 基本政策4生涯学習関連の充実については、件数は他の施策より少なく情報発信や施設の有効活用を兼ね備えている。施策の展開は4-1～4-3。それぞれ主な取り組みで、プランの中でやっている。 前回到引き続き、今後の政策に関して枠に囚われない事があればご意見いただきたい。</p> <p>基本政策2誰もがいつでもどこでも学べる仕組みづくりについての意見 2-1（身近で多様な学習機会の提供）の意見 いちよう塾と生涯学習講座の連携という話が前々からあるが、その辺については何か考えはあるか。 市民自由講座といちよう塾の一般講座いずれも有料だが、テーマの設定について、学習支援課といちよう塾の運営スタッフと連携を取り合い、講座のテー</p>

<p>会 長 委 員</p>	<p>マを積み上げたほうがいいのでは。市民自由講座は民間の研究者がやっているものが多い。いちょう塾は大学の教員がやっている。全体的にいえることは市民自由講座の方が実施数が多い。いちょう塾の一般講座は大学の教員が独自の専門のテーマでやるため、受講生の需要を考えずニーズが少ない傾向がある。質の高さからいうと、いちょう塾のほうが大学の教員がやっているのでレベルは高く、専門性も高い。市民自由講座は宣伝がされている。ビルの1階に講座の情報が並んでいて、そこから内容を知って入ってくる。いちょう塾は宣伝が足りない気がする。広報はちおうじには案内を載せたが、テーマしか出ていなく、どのような内容なのか分からない。講座のガイドブックを前は受講した全員に配っていたが、今は配られていないため、広報はちおうじでしか情報を得られない。各講座の宣伝も効いていない。分かっていたら行ったのという受講者の方がいちょう塾には多くいると思う。講座の内容の棲み分けと、広報の宣伝の仕方を学習支援課といちょう塾で連携を取り合いながら受講者の多い講座と情報交換をしていくとよいのでは。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>学園都市文化課と協働推進課と学習支援課の三者で意見交換を行った。年2回を目途に実施していたところだが、具体的な連携が見えていなかった。例えば、宣伝の事について話していたことは、クリエイトホール西側から入ってすぐ右。そこにパンフレットとポスター、チラシをいちょう塾のものを貼らせていただいている。連携というところでは、1つは子どもいちょう塾について、今年の夏7月21.22日予定されているが、キャパシティ400人に対して、800人応募がある。どうしたらいいかということで、クリエイトホールも使おうという話をした。具体的にまず子どもいちょう塾についてはクリエイトホールを会場にして小学校4.5.6年生の講座をする。具体的な内容はこれからだが、はっきりと連携をしようとしているところ。連携2点目は、講座が食い合うことになってしまうと、効果が薄くなると思う。いちょう塾のほうが事前にカリキュラムが出来つつあるので、テーマが時期的に被らないような配慮を学習支援課がする。事前にテーマが分かっているので、連続講座の前に学習支援課が概要的なものを打つことによって、いちょう塾の後に行ってみようとなる人があるのでは。位置づけとしては生涯学習の入口、専門性を高めるのはいちょう塾。というような棲み分けができる。そんな連携ができるのではと話し合いをしたところ。</p> <p>原稿プランの主な取り組みについての意見交換</p> <p>将来に向けて生涯学習としてプラスしておいたらよいことは ビデオデータのライブラリ化。講座を見逃した方に、去年やったことが見られるのがいいと思う。著作権の問題等がある為、要検討。</p> <p>生涯学習センターといちょう塾の連携は是非入れてほしい。原稿プランでは分かれているが、繋がりを表現してほしい。</p> <p>八王子の特色を活かした、文化・芸術の振興について</p> <p>音楽関係において、八王子は邦楽に偏りやすいところがある。洋楽にも素晴らしさがある。とある団体は、東京交響楽団と連携していて、和のものも提供しているが、クラシックを中心とした洋を八王子の中に投入できないのかと考</p>

委 員	<p>えている。邦楽に目を向けると同時に世界に目を向けることで、洋楽等も取り入れていきたい。バランスのとれた生涯学習になると思う。</p> <p>Q. 今ある学校運営協議会のようなシステムをそのまま掲げるのか、それとも別々の形で表現するのか。</p> <p>A. あまり型にはめずに、地域実用に合わせて学校経営をするところもあれば、地域と共同して学習支援や事業型をやっているところもある。八王子と学校が地域運営本部の役割を果たしている実態もある。 八王子は進んでいるところもあり、新しい仕組みを導入しやすいが、現状走っているなかであえて地域が混雑してしまうのではという考えもある。</p> <p>生涯スポーツ・高齢者の生きがいづくり・共同参画の実現について新しい視点で、現在行われている取組に将来を見据えて+αしていく部分があったら意見をほしい。</p> <p>高齢者の生きがいという表現はおかしい。すべての年代で生きがいというのは大切な課題である。表現を直すべきだと思う。</p> <p>多文化共生社会の先にくるものとは。</p> <p>少子化で人口減少社会の中、外国人の人口は増えている。特に若年層の数が多。これは留学生や、若手の働き手の人 coming いるのが大きな要素の一つ。安価な労働者として使うのではなく、街づくりを行うパートナーとして外国人と関わっていくことが大事。新宿区大久保は、外国人の力を借りないと街づくりが回らないので、日本の縮図のようなのかもしれない。 外国人というより、日本人の中でも文化が違う。日本の中の多文化。日本のマルチカルチャー。文化というより、人としてどうなのかではないのだろうか。</p> <p>他に質問や意見が、無いようであれば、次回の会議日程は3月23日（金）午後7時～とし、本日の会議は以上をもって終了とする。</p> <p>6. 閉 会</p> <p>上会議録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。</p> <p style="text-align: center;">八王子市生涯学習審議会会長</p> <p style="text-align: center;">八王子市生涯学習審議会委員</p>
--------	---

